



レッスン+おうち英語で育む英語力

TERA+KOYA 南越前町 妙泰寺

日蓮宗の寺院として名高い南越前町西大道の妙泰寺で、住職の娘である三井あかりさん(39)が英語教室を開催している。対面レッスンは、年少児から小学校6年生までの子ども向けで、学年や習熟度によって少人数のクラスを組み、指導に当たる。

三井さんは高校を卒業後、アメリカに3年間留学。帰国後は、県外でホテルや空港などに勤務、その後リターンし、大手英会話スクールの講師として奮闘した。そこで目の当たりにしたのは「週1のレッスンだけで、英語を話せるようになるのは難しい」という現実だった。次第にもどかしさを感じるようになった三井さんは、自らの妊娠・出産を機に2016(平成28)年、自宅である妙泰寺に教室を開いた。

「英語話者を育てること」三井さん

の狙いは明確だ。週1回の対面レッスンに加え、日々の生活に英語を取り入れる「おうち英語」の取り組みを重視。動画やアプリなどを使って「5分でもいい」と保護者にも連携と協力を仰ぎ、確実に家で英語を使う時間を持たせる。さらに独学した心理学を取り入れ、コミュニケーション能力、思考力、自己重要感をも伸ばすことを目指している。

火曜日夕方の低学年クラスには、南越前町や越前市の小学2~3年生、7人が参加。50分間のレッスン時間のうち、読み書きや発音法の指導時以外日本語は禁止。大広間にメンバーがそろろうと、あいさつや日付、天気などを確認した後、ペアになってお互いに英語でインタビュー。「週末は何をした?」「空手の練習をしたよ」「ワイプラに買い物に行った」な

ど、どの子も臆することなく「英語を話すことが楽しくて仕方がない」といった様子で口々に話し出す。そこに三井さんも加わり、終始冗談と笑いが絶えない。由緒ある寺院で開かれる現代の「寺子屋」で三井さんの思いは、確実にかたちになっている。

現在、今秋開始の年少・年中児とその保護者が対象の「親子クラス」の参加者を募集中。また、中高生や大人向けにオンラインレッスンも開催しているとのこと、興味のある人は三井さん=☎090-3764-5079に問い合わせを。



三井さん(前列左から2人目)と参加者の子どもたち。いずれも南越前町の妙泰寺で。



レッスンの様子。寺院の広い和室で伸び伸びと英語を学ぶ

※価格はすべて税込

材料を厳選した唯一無二の海鮮丼

大野市陽明町 鮨 江戸文

大野で約45年前に開業。地元の人々に愛されてきたすし店「江戸文」が、6月から火・水・木曜日限定でランチ営業を開始し、口コミで評判を呼んでいる。

「江戸文」は店主の高井弘晶さん(45)の両親が営んできた店で、弘晶さんが2代目。現在は妻の理恵さんと息子の俊暢さんの3人で切り盛りする。

ランチの一番人気のメニューは「本日の海鮮ちらし」(写真)。研究熱心

な弘晶さんが独自に開拓したルートから仕入れる鮮度抜群の県産の海鮮が約10種類載った豪華な丼だ。

ネタの鮮度と種類だけでなく、「江戸文」のこだわりは弘晶さん自ら調合する、3種類の「赤酢」を混合して作るすし酢にもある。赤酢は一般的にシャリに使われる米酢に比べ、刺激が少なく香りが高いのが特徴。そこに天然海水塩、昆布、三温糖を加うまみを増している。弘晶さんは「口当たり

がよく、添加物や加工品を加えていないため『すしを食べるとのどが渇く』現象が起こりにくい。食べる時に「茶褐色」をしたシャリも堪能してほしい」と話す。

店内はカウンターが5席に4人掛けの座敷席が3つ、2階には個室もある。カウンター席は



「本日の海鮮ちらし(汁物付き)。(1,500円)。海鮮の内容は仕入れによって変わる

今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
 ①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、方眼法票 ③電話番号、職業 ④現在購読の新聞名 ⑤おすすめのおいしい飲食店 ⑥読者からのお便りコーナー、テーマ「夏の思い出」への投稿を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

- はがき [宛て先] 〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内 「さんぽみち」北7月号プレゼント」係
- メール osanpo@fukuikoh-co.jp



■LINE さんぽみち公式アカウント ID:@059fzwww
 メール、LINEの場合は、件名または本文初めに「さんぽみち」北7月号「プレゼント」係」と入力してください。

ふらりとカフェタイム

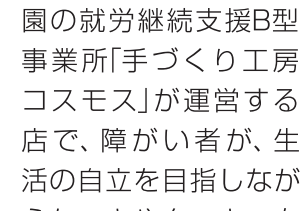
ロケーション抜群の癒やしカフェ

クッキー&カフェ サニースマイル

忙しい日々を過ごしているとき、誰でも一息つく場所が欲しいと思う瞬間があるのでは。そんな時にお薦めのカフェを紹介したい。

日野川に架かる福井市の朝宮橋を渡った清水地区に、「クッキー&カフェ サニースマイル」がある。店内はゆったりとしたテーブルの配置。壁一面はガラスで、遮るものなく清水の自然を一望できる。春の山々はもえぎ色、夏に向かって緑はその色

を濃くし、秋になると街路樹が真っ赤に染まる。冬は雪の中に溶け込むような景色だそう。幹線道路から100mほど入ったところにあるので、通る車も、この建物がカフェだと知る人も少ない隠れ家的な場所。提供されるスイーツやコーヒーにもこだわりが深い。



店内で提供される「シフォンケーキ」(300円)と「ロールカステラ」(300円)、「フレンドコーヒ」(350円)。シフォンケーキはふわふわ、ロールカステラは注文を受けてから手巻きます。コーヒはバリスタがいる地元の有名店、武コーヒの焙煎したの豆を使っている

この店は、総合福祉施設あけぼのの就労継続支援B型事業所「手づくり工房コスモス」が運営する店で、障がい者が、生活の自立を目指しながらケーキやクッキーを製造している。菓子作りへの向き合い方が一生懸命で、手作りにしか出せないハイレベルな味わいが魅力。菓子作りを始めて20年ほどになり、さまざまな施設のおやつに提供されたり、レストランから製造委託されたりして、高い評価と信頼を得ている。コーヒーを運ぶなど接客も当番で行う。施設長の酒井千佳子さんは「ここは事業所の利用者が地域の人と関われる場。接客ややり取りなど、人との

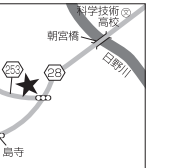
触れ合いからも成長が生まれます」と話し「障がい者とカフェ利用者とのやり取りが、ありふれた光景になってほしい」と話してくれた。居心地の良さの秘密は、素晴らしいロケーションに加えて、頑張っている人を応援するときに湧き上がる心の温もりにあるかもしれない。



目前に広がる田園風景は癒やし度満点。店内ではクッキーやマフィン、フィナンシェなどの焼き菓子も販売していて、価格は100円からとお手頃。お土産や贈答用のセット販売もある



社会福祉法人 竹伸会 あけぼの園 手づくり工房コスモス クッキー&カフェ サニースマイル



〒910-0005 福井市田尻橋谷町38-46-5
☎0776-98-3568
午前10時~午後5時
日曜日。土曜日不定休
7月23日(土)は通常営業
※ホームページで情報発信中

あなたの知らない中国茶の世界

vol.2 日本で有名な中国茶?

日本でなじみのある中国茶といえば、ペットボトルでも販売されている「ジャスミン茶」「ウーロン茶」、飲むと痩せるお茶として一世を風靡(ふうひ)した「プーアル茶」でしょうか。中国茶はその製法により、緑茶・白茶・黄茶・青茶・紅茶・黒茶の6種に分類されます。「ウーロン茶」は青茶の一種、「プーアル茶」は黒茶の一種です。プーアル茶はさらに加工方法によって「プーアル熟茶(以下熟茶)」と「プーアル生茶(以下生茶)」に分かれます。日本で主に流通しているプーアル茶は熟茶ですが、脂肪分解効果がより高いのは生茶だそうです。なんじやそりや、ですよね。私も中国に行って初めて生茶を飲みました。熟茶ほど癖がなく、緑茶のようなすっきりした味わいのものが多いです。ウーロン茶も加工方法によって「このお茶とこのお茶が一緒の種類なの?」と驚くほど種類や違いがあります。

では、ジャスミン茶は上の6種のうちどこに属するお茶だと思いますか?

今回はジャスミン茶のお話です。



プーアル熟茶は餅状になっているものが多い、専用のナイフのようなもので削って使います

筆者:石 泉美さん 中国国産高級茶芸術資格を所有。好きな中国茶は焙煎の効いた青茶。

あったか塾

参加者募集

押し花のスマートフォンケース教室

日時 7月16日(土) 午前の部 午前10時30分~正午 午後の部 午後1時30分~3時

場所 ハビリン2階の福福小屋

参加費 2,000円(クリアハードケースは用意します) 対象 小学4年生以上 定員 各部10人(先着順) 講師 岩永美香さん (押し花アート講師)

主催: 日刊県民福井・中日新聞社 共催: 福井市観光物産館福福館

問い合わせ・申し込み先 日刊県民福井事業グループ=☎0776-28-8618 (平日 午前10時~午後6時)

スタッフ日記

今月の読者投稿のテーマは「夏を乗りきる私の工夫」でした。皆さん、いろいろ工夫されていますね。暑さが苦手の筆者には、参考になることばかりです。梅雨が明ければ、本格的な夏の到来。暑さ対策をしながら夏を存分に楽しみ、乗り切りましょう。たくさんのお返事がありがとうございました。全部紹介できず、すみません。

7月30日(土)、31日(日) 「夏の感謝祭」in荒島の郷

新鮮な産直野菜や加工品、手作り雑貨などを道の駅に出荷する団体「大野市道の駅産直の会」が日頃の感謝を込めて、感謝イベントを開催。取れたて野菜や地元のおいしい商品などが勢ぞろいします。

場所 道の駅 越前おおの荒島の郷(大野市蔵生137-21-1) 農産物の販売 午前9時~11時30分 加工品の販売 正午~午後4時

手作り体験 午前10時~午後3時(文化伝承室で)

夏休みの工作や菜園記念として、世界に1つのオリジナルの手作りを体験しましょう。



所要時間 1体験15~30分 ※ジオラマ体験は30~60分

問い合わせ ☎0779-64-4500(産直の会事務局)

A くみくら公民館 ご招待券 5人

B 水口木材株式会社 「木工クラフト」「木の小さなイス作り」「トーチ作りとたき火料理」の中から好きな体験を一つ 1人

C めがねミュージアム めがねdeカラージュ体験時に引換できる めがね型ストラップ引換券 5人

D 近所のかき氷屋MINORI かき氷引換券 3人

E クッキー&カフェ サニースマイル 店内飲食にも使える お買物券 500円分 5人

F 鮨 江戸文 お食事券 500円分 3人

福井ユニテッドFC ホームゲーム ペアチケット 5人

応募締め切りは7月25日(月)必着 ※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

応募締め切りは7月15日(金)必着。詳しくはカラー面をご覧ください。(ホームゲーム全試合共通です。)

読者からのお便りコーナー

お題は 「夏を乗りきる私の工夫」

毎日、手作りの梅ドリンクを飲んでいます。(福井市 50代 女性) 外仕事をすることが多い私ですが、まず帽子は必須。被るだけで日差しが遮られ楽です。それと、スポーツドリンクのような成分の飲み物は大切に。それも、つらくなってから飲むのではなく、作業の前に飲んでおく

と体が楽です。(勝山市 50代 女性) 水で分補給と黒ニンニクを毎日。そして、ウナギを食べた夏を乗り切れるように頑張ります。(坂井市 60代 女性) 冷やした麦茶に塩を入れて飲む。(坂井市 30代 男性) よく食べ、よく寝る。冷たいものはほどほどにする。こまめに水分を取る。(福井市 60代 女性) 夏は苦手なので、夜は温度高めでエアコンをつけています。(福井市 60代 女性) 山登りをして汗をかくて体を鍛える。(勝山市 60代 男性)

夏は毎日お味噌汁を飲みます。熱い汁ものは避けたいところですが、塩分補給、水分補給には欠かせません。(大野市 30代 女性) 夏こそはしっかり栄養を取ること。夏野菜を畑で育てて、収穫し料理して食べる!これで夏を乗り越えられます。(福井市 60代 男性) 数年前から、ゴーヤを植えてゴーヤカーテンにし、リビングを涼しくしています。ゴーヤチャンプルーなどにしておいしく食べています。(福井市 50代 女性)

アイスノンに、タオルを巻いて枕にします。頭を冷やすと気持ちよよくよく眠れます。その前にキンキンに冷えたビールを飲んで!!(勝山市 60代 女性) 投稿募集 投稿して下さった皆さま、ありがとうございました。今回のテーマは「夏の思い出」です。エピソードを添えて送ってください。 ※内容を変えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

投稿募集

投稿して下さった皆さま、ありがとうございました。今回のテーマは「夏の思い出」です。エピソードを添えて送ってください。 ※内容を変えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

アイスは冷やしていただく皆さま、ありがとうございます。今回のテーマは「夏の思い出」です。エピソードを添えて送ってください。 ※内容を変えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

投稿募集

投稿して下さった皆さま、ありがとうございました。今回のテーマは「夏の思い出」です。エピソードを添えて送ってください。 ※内容を変えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

個人情報保護法

さんぽみちはお客さまに記入いただいた個人情報、さんぽみちやお客さまの区域の販売店において適切に管理し、プレゼントのお届けなどにご利用させていただきます。